

Omikoshi



台東ボランティア・地域活動サポートセンターでは地域で活動する団体を支援し、つながりづくりを行っています。

令和4年10月
第71号

わっしょい



あいサポートの
和泉澤さん、森田さんに
インタビューしました！

NPO法人 ガイドヘルプ

あいサポート

あいサポートでは、視覚に障がいをもつ皆様が
地域社会において、より質の高い生活を送るため
に自立と社会参加活動を支援し、安全安心な外出
をサポートいたします。

センターからのお知らせ

☆専門相談

☆NPO 法人に関する専門講座

台東区
地域活動
支援サイト



全国どちらからでも大丈夫です

ガイドヘルプあいサポートの活動内容について教えてください。

障害者自立支援法にもとづき、視覚に障がいのある方の社会参加のお手伝いをしています。

墨字の読み書き、情報提供、目的地への安全な移動の支援などです。同行援護事業といいます。

団体の成り立ちについて教えてください。

台東区障害福祉課が行っていた事業のガイドヘルプ研修に参加しました。

その後有志のガイドヘルパーとともに2003年にガイドヘルプ事業を設立。移動支援から同行援護制度変更に伴い2012年にNPO法人ガイドヘルプあいサポートになりました。ちょうど10年になりました！

会議や通院、旅行と利用される事由は様々です。現在、常時動いているガイドヘルパーは20名ほどです。

NPO 法人設立からちょうど10年が経つんですね！

地方から上京される方のガイドもできるようになりました。東京に会議のために来られる方と東京駅で待ち合わせをすることもありません。台東区だけではなく、東京に来られる際に利用されているのです。

台東区民でなくともご利用できるんですね。

受給証をお持ちであれば、全国どちらからでも大丈夫です。同行援護の契約を交わすことで、利用ができるようになります。

コロナ禍になる前は東京駅や羽田空港での待ち合わせもありました。高齢の方のご利用は、担当ケアマネージャーさんを通して緊急連絡先等の情報提供をいただくことができます。



「私が目の代わり」

コロナ禍になって変化したことはありますか？

最初のころは大変でした。感染防止対策として、ガイドヘルパーには液体アルコールや除菌シート、マスク、非接触型体温計、手袋、スリッパなどを常時持たせています。フェイスシールドなどの感染防止対策のグッズはどれほど試したかわかりません。

人混みは避けるなどをして感染症対策をかなり重視してガイドしました。

催し物が中止になり、ガイドすること自体が減ってしまい、利用者さん同士が会食やお茶をすることもなくなりました。利用者さんの中には外出の回数が減ったことによる体力低下がみられた方もいらっしゃいました。

最近では、行動制限の緩和がされてきました。ご利用状況はいかがですか？

定期的な方は月に何回、週に何回と決まっている方がいらっしゃいます。

最近では美術館のガイド依頼がありました。絵画を見る際には「背景はどんな感じ？」などの質問があります。絵について頭の中で色々なことを巡らせていると思うと、説明に気を遣います。

ガイドをする上で、特にコミュニケーションを大切にしています。「私が目の代わり」になって一緒に感じてもらう。利用者さんも色々な経験をしたという方もいらっしゃいます。こちらとしてもたくさんの経験をしていただきたいし、体を動かして元気でいてほしいと思っています。

色々な企画をしています

ホームページには様々な活動報告が掲載されていますね。

当団体では、色々な企画をしています。コロナ禍の前は台東区の名所、名店巡りや伴走ロープを使用したイベントも行っていました。

～伴走ロープを使って楽しく走ろう～では、近所の公園に行き、伴走ロープで走ります。不安な方は2重にして短く持っても大丈夫です。お互いにロープを握り、一緒に走る。ロープの長さ分、走っている間は離れているので、利用者さんは**お一人で走っている気分**になれるそうです。



伴走ロープ

社協のご協力でフラワーアレンジメントの先生をご紹介していただき、フラワーアレンジメントの開催もご利用者さんに大変喜んでいただけました。

乾燥した果物のオレンジや香りのするものを使うなど、本当に目から鱗でした。

今年の2月には、浅草小学校で福祉体験学習をしました。白杖や盲導犬を利用している方のガイドの体験をしてもらいました。子供たちに関心を持ってもらうきっかけになったのではないかと思います。

後日、参加児童より嬉しい感想文をいただきました。



伴走ロープで
走る様子

寄り添う気持ちを大切に

ガイドヘルパーをやっていることはどのようなことですか？

利用者さんが喜んでくださると嬉しいです。「今日はよかったわ」という言葉をいただくと、疲れが飛んでいきます。

目が見えないということで、つらい思いをしてきたという声を聞くこともあります。私たちは利用者さんがやりたいことをサポートする。寄り添う気持ちを大切にしています。目が見えないから、やってあげるのではなく、障がいの方を理解して「一緒に生きていこう」という精神でやっています。

地域の方に向けてメッセージをお願いします。

視覚障がい者の方の外出利用をご存じない方もいらっしゃると思います。ご家族が一緒でもご利用できることもあります。詳細については問い合わせください。



写真左側より事務スタッフの土橋さんと、森田さん、和泉澤理事長
※撮影の時だけ、マスクを外しています。

特定非営利活動法人 ガイドヘルプあいサポート

☎03-3872-8511(平日 12時から 16時)

✉info@aisapo-taito.com

🏠台東区入谷 2-20-8 柏崎ビル1階



次号のわっしょいでも、地域で活動されている団体にインタビューしていきたいと思っております♪



☆☆センターからのお知らせ☆☆

NPO・地域で活動する方々のための専門相談

専門職による団体運営に関する無料相談を実施しています。

予約制

無料

法律	労務	会計・税務
10/6(木)	10/12(水)	10/13(木)
11/16(水)	11/16(水)	11/11(金)
12/7(水)	12/14(水)	12/16(金)
1/12(木)	1/11(水)	1/13(金)
2/9(木)	2/14(火)	2/10(金)
3/8(水)	3/14(火)	3/17(金)



- 各日とも14時～／15時～ 50分間。●予約の締切りは各日の1週間前。
- 専門相談を希望される方は、希望日時・団体名・電話番号を電話・FAX・メールのいずれかの方法でお伝えください。



NPO 法人に関する専門講座を開催します



- テーマ ①「NPO 法人におけるセクハラ・パワハラの実態について」
②「一般社団法人・NPO と労働者協同組合法の違いについて」

講師 埜 創平氏（弁護士・准認定ファンドレイザー）

- 日時 ①令和4年11月30日(水)14:00-15:30 先着20名
②令和4年12月6日(火)14:00-15:30 先着20名

場所 台東区社会福祉協議会(台東区下谷1-2-11)

対象 台東区在住・在勤の方、区内で活動するNPO法人、今後NPO法人や団体の立ち上げを検討している方

申込 右記のQRコード、もしくは下記URLからお申込みください。

<https://forms.gle/M6NTf4n3VyaWpQxL7>

- 講座に関するお問い合わせは台東ボランティア・地域活動サポートセンターへ



申込 QR

「わっしょい」に込められた思い♪

社会にはたくさんの方が山積しています。私たちはその問題を前に、尻込みしがちです。一人では無理でも、みんなで力を合わせれば持ち上がるかもしれません。「わっしょい」と掛け声をかけて、みんなで持ち上げてみたいのです。そんな願いを込めて名付けた情報誌です。

台東ボランティア・地域活動サポートセンター情報誌
わっしょい 第71号

発行 2022年10月

発行者 社会福祉法人台東区社会福祉協議会
台東ボランティア・地域活動サポートセンター

開所時間 8時30分～17時15分

電話 03-5828-7012 FAX 03-3847-0190

E-mail taito-vc@jcom.home.ne.jp

URL <http://taito-sc.genki365.net/>

(台東区地域活動支援サイト)